

令和4年度 調布市立第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごとともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○「自ら学び、考える生徒」→問題発見、課題認識、推論、解決策などを柔軟性をもって思考する力を育む。 ○「命を大切にする生徒」→高い倫理観をもち、他者との良好な関係を構築する力を育む。 ○「何ごとともやりぬく生徒」→心身を安定・維持させながら、主体的に考え行動する力を育む。	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○コロナ禍における教育課程の充実(中止や変更について、迅速、適切、説明責任) ○地域に支持される魅力ある学校づくり(授業の質的向上、ICTの活用、部活動の充実、学校行事の活性化) ○特別支援教育における指導力の向上(特別支援教室拠点校としての通級の指導、通常の学級における指導の充実) ○地域学校協働本部(各種検定等の実施、補修等サポートの充実)、PTA、小学校との連携・協力

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝えるための語彙力 ・思考力や想像力につながる読む力 ・主体的・対話的で深い学びに対する姿勢を深める能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で、小学校からの漢字の復習を繰り返し行う。 ・教材ごとに個人の自学自習のページを設定し、主体的・発見的学習により学ぶ意欲を喚起する。 ・教科書教材に関連した多くの図書を紹介することで豊かな読書習慣を育む。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現在社会について考えを深めていく力 ・ICT機器を活用し、探求していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた知識や技能を活用した上で、自分や現在の社会と関連付けられるような問いを設定する。 ・ICTの活用や話し合い活動を取り入れ、全員が知識や技能を身に付けられるよう、分かりやすい授業の展開を工夫する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用していく力 ・教え合いより深い学びに対する姿勢を深める能力 ・粘り強く学習に取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の中で演習の時間を確保し、確実に課題解決する力を育む。 ・問題解決のための方法を生徒同士で相談したり共有したりして、理解を深める。 ・演習や定期考査の間違い直しを課題とし、「できない」を「できる」にするまで、繰り返し取り組ませる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的に探究し、課題を解決する力 ・主体的・対話的で深い学びに対する姿勢を深める能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験やそのまとめに主体的に取り組ませることで、問題解決を通じた思考力や表現力を身に付けさせる。 ・毎回の授業、実験前に、関連のある既習事項を振り返るとともに、授業後にも学んだことのまとめ等を行い、身に付けた知識や技能を定着させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自国や多文化を理解し、創造する力 ・ICT機器を活用した表現の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の中で楽譜から、音楽の諸要素を読み取り、表現につなげていく。それぞれのパートの音を分かりやすく伝える。 ・一人一人表現力向上のため、ワークシートを活用する。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びに対する姿勢を深める能力 ・ICT機器を活用した表現の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能習得の時間を確保し表現力の向上を図る。またChromebookを活用し、完成イメージを持たせる。 ・生徒同士の意見交換の時間を確保し、発想を広げる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の健康につながる体力の向上 ・課題の合理的な解決方法につながる思考力、判断力、表現力 ・粘り強く学習に取り組む意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・補強運動や運動量の確保により、体力の向上を図る。 ・運動量の確保とともに学習資料の活用等により、自己の課題を解決させ、技能の定着を図る。 ・達成感を味わわせ、前向きに取り組む意欲を育む。
技術・家庭	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の課題発見とその解決能力の向上 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の課題発見とその解決能力の向上 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成 	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能の習得を目指すとともに、課題解決能力の向上を図る。 ・自己の課題を見だし、よりよい製作品にしようとする態度を育てる。 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に臨めるようにし、思考力や表現力を身に付けさせる。 ・進度に応じるとともに、工夫できるような授業内容にする。

<p>外国語 (英語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のコミュニケーションにおいて活用できる「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」 ・主体的な国際社会での活用につながる読解力・表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の活用により、視覚、聴覚を通してインプット、アウトプットさせる。 ・4技能に関する基礎的な能力の習得のために、リスニング、教科書の音読・暗唱、ペアワークによる会話練習、英文読解、英作文等の学習を授業の中でバランスよく行う。 ・スピーチ発表や自己紹介文や自国の紹介文等の作成など、普段の学習で身につけた力を実際に活用する場面を設定していく。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な判断力・心情 ・実践意欲と態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える」「他の人の考えを聞く」発問を工夫し、自己内対話ができる授業を展開する。 ・「考え、議論する」道徳の授業をとおして、人間としての生き方について自覚を深め、ともによりよく生きようとする意欲や態度を培うように展開を工夫する。